

算数科学習指導案

単元名「面積」〔学指要領：A(6)ア(イ)、B(4)ア、イ〕

令和5年11月8日(水) 第3校時 4-2教室
みどり市立笠懸西小学校 4年2組 指導者 根岸 佳奈

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 公式についての考え方を理解し、公式を用いることができる。 面積の単位がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式を用いることや面積の単位については理解している。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 正方形及び長方形の面積、複合図形の面積を求めることができる。 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長方形や正方形の面積の求め方については理解している。 面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察できる児童もいる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 面積の求め方や面積の単位の関係などを主体的に追究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 面積の求め方については主体的に追究しようとする姿が見られる。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 面積の単位について知り、測定の意味について理解している。 必要な部分の長さを用いることで、正方形や長方形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 正方形や長方形の面積を、公式を用いて求めることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、正方形及び長方形の面積の計算による求め方を考えている。 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図形の構成の仕方に着目して考えている。 面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 面積の大きさを数値化して表すことよさに気づき、面積を調べる際に活用しようとしている。 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方について、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全 10 時間:本時第 6 時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> 直接比較など既習の比較方法を振り返りながら、長方形や正方形の花壇の広さを数で表す方法を考える。 面積の意味を理解し、単位となる広さのいくつかで表すことを知る。(あ) 			○
2	<ul style="list-style-type: none"> 1 c m²の正方形の数を数えて面積を求める。 いろいろな 1 c m²の図形を知り、工夫してかく。(あ) 	○		
3	<ul style="list-style-type: none"> 面積が 1 2 c m²の図形をかく。 周りの長さや面積がそれぞれ異なる 2 つの長方形を比べ、わかることを話し合う。(あ) 			○
4	<ul style="list-style-type: none"> 単位正方形が規則的に並んでいることをもとに、手際よく個数を求めることを考える。(あ) 		○	
5	<ul style="list-style-type: none"> 必要な辺の長さを測り、長方形や正方形の面積を求める。(あ) 	●		
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 複合図形の面積の求め方を説明し、その面積を求める。(あ) 		●	

7	・ m^2 の単位を用いて面積を求める。(あ)	○		
8	・畑の面積を考え、面積の単位 a を知り、a を用いて面積を求める。(あ)		○	
9	・正方形の一边の長さや面積の単位の関係について表にまとめ、話し合う。(あ)			●
10	・求積公式を利用して、長方形や正方形の面積を広さに応じた単位で求める。(あ)		○	

* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート

II 本時の学習 (6 / 10)

1 ねらい L字型の図形の面積を求める方法を考え説明する活動を通して、複合図形の面積はその図形を長方形に分けたり長方形とみなして部分を引いたりすると求めることができると理解することができる。

2 展開 【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「今日の課題には、長方形や正方形がないですが、どうしたらよいでしょうか。」</p> </div> <p>S : L字型の図形の中に、長方形や正方形が見付けられそうだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて> L字型の図形の面積を求めるには？</p> </div>	<p>○長方形や正方形が組み合わせされた形であることに気付くことができるように、L字型の図形は、長方形がどのように変わった形なのかを問いかける。</p> <p>【★提示】</p> <p>○本時の課題を解決する見通しが立てられるように、本時に使えそうな説明アイテムは何か確認する。</p>
<p>2 ロイロノートを使用して、面積の求め方を考えさせる。(10分)</p> <p>S : たてに線を引いて分けると長方形が2つ見えてくるね。</p> <p>S : へこんでいるということは、大きな1つの長方形から、小さい長方形を引けばできそうだな</p>	<p>○自力解決が難しい児童には、個別にヒントカードを見るよう促す。</p> <p>○すぐに答えを見付けることができた児童には、さらにいろいろな求め方を見付けることができるように、まだ使っていない説明アイテムを使って考えてみるよう助言する。【★配布・提出】</p>
<p>3 集団で多様な考え方を発表し合っ、それぞれの考え方を理解する。(15分)【★共有】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「どんなときでも使えそうな考え方は、どの考え方でしょうか。」</p> </div> <p>S : 長方形に分ける方法はいつでも使えそうだな。</p> <p>S : 大きい長方形から小さい長方形を引く方法は、1つの式でできるから簡単だね。</p>	<p>○考え方の理解を深めることができるように、1つの考え方について複数の児童の言葉や説明アイテムの言葉をつなげて考え方をまとめられるよう意図的に指名をする。</p> <p>○それぞれの考え方のよさがわかるよう、考え方に名前を付け、児童が見付けたよさを板書する。</p>
<p>4 本時のめあてに対するまとめを確認し、適用問題に取り組む。(15分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><まとめ> L字型の図形のように、長方形や正方形でない図形の面積は、長方形や正方形に分けたり、へこんでいる部分を引いたりすることで求めることができる。</p> </div> <p>S : U字型の面積も、L字型と同じように求めることができるね。くぼんでいる部分に、飛び出ている部分をはめこむ方法や、6個の正方形に分ける方法は、新しい考え方だね。(適用問題の解答)</p>	<p>○本時の学習内容を確認することができるように、児童の言葉で本時のまとめを作り、板書する。</p> <p>○本時の学習の理解度を確認することができるように、適用問題に取り組ませる。【★配布・録音・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目(思)</p> <p>タブレットの記述内容と音声での評価から(A)、「補助線を使って図形に分けたりひとまとまりにして考えたり、複合図形の面積の求め方について理解している」(B)」を評価する。</p> </div> <p>○次時への意欲を高めることができるように、本時の取組を称賛する。</p>